

熱田区老人クラブ連合会主催

「令和4年度春季ウォーキング大会」に参加しました

～熱田神宮から六番町駅まで～

4月25日(月)、「熱田区老人クラブ連合会 (なごやかクラブ熱田)」主催の「春季ウォーキング大会」に参加しました。100人の先輩「あつた人(びと)」と一緒に「熱田神宮」を出発し西へ。「白鳥庭園」「番割観音」を回りながら3kmを歩いてきました。



「熱田神宮西門」

感染症対策のため、集合、出発時間を2班に分け、消毒、検温、体調確認のうえ、分散出発。

コロナ禍の外出自粛などによる運動不足解消と仲間同士の語らいを楽しみます。



「御陵橋」－堀川を渡る－

「子どもの頃には貯木場があり、ちょうどこの辺りには筏にして浮かべられていた。川の中に入り筏に乗って遊んでは、よく叱られたもの。」など会話が弾みました。



「白鳥庭園」

「まるで木に雪が積もっているよう。」との声。満開のヒトツバタゴ(なんじゃもんじゃ)の白い花に笑みがこぼれました。





「一番観音」

初代尾張藩主徳川義直の命により 1647 年から開拓された熱田新田。この新田を 33 に分け「番割」と呼び、観音堂がまつられ新田開発の守護仏としました。熱田区内には一番から九番までの番割観音が現存しています。

※「区長の部屋」には、「新田開発と番割観音、百曲街道」と題す、総務課長による詳しいレポートを 4 月 19 日に掲載しています。



「二番、三番観音」 & 休憩

熱中症対策のため大切な水分補給。



「行きたいところに行ける丈夫な自分の足に感謝。ゴールまで頑張る。」
「買い物は歩いて行くが、ウォーキングコースを一人で歩くことはない。皆さんと一緒に歩ける。」といった感想に、元気を共有して次なる目的地へ。



「四番、五番観音」

あと 5 分程歩けば、ゴールの地下鉄「六番町」駅。
「長く住んでいるが、番割観音を訪れたのは初めて。」とこの機に、地域の魅力資源のひとつに触れたご参加者もありました。また、道中は「この飲食店、おいしいよね」「この店の特売日は〇日」、中学校のエピソードなど「あつた人」同士ならばこそ、地元話にひと盛り上がり。

和やかな雰囲気の中、皆さんの笑顔が輝く、心と体をほぐす素敵なひとときになりました。

～老人クラブ活動に参加しませんか～

老人クラブは概ね 60 歳以上の方が身近な地域で集まり活動する自主的なグループです。スポーツ、文化活動や、地域を豊かにする社会活動など会員の方が今まで培ってきた経験や知識を活かして、生きがいと健康づくりや仲間づくりに取り組んでいます。

(それぞれの老人クラブごとに活動内容は異なります。)

詳しくは、お住いの地域の老人クラブまたは熱田区老人クラブ連合会事務局までお問い合わせください。

熱田区老人クラブ連合会事務局(区役所福祉課 1 階 12 番窓口)
TEL 052-683-9900 FAX 052-682-0346